

第4回シンポジウム 「石油の力。」の開催について

2016年1月

石油連盟は、来年3月2日（水）経団連会館において、日本経済新聞社と共催で、第4回シンポジウム「石油の力。-東日本大震災から5年を経て、あらためて考える社会インフラとしての石油-」を開催致します。

今回は、震災後5年の区切りの年となるため、パネルディスカッションでは、石油業界だけでなくコンビニ業界と被災地の報道機関（新聞社）からパネラーをお招きし、震災当時の状況やその後の対応について、一緒に考えていきます。特に、災害時には「エネルギー」と同様に必要となる「食」と「情報」の供給・発信者であり、石油と同様にサプライチェーンを有している両者の震災後の取組みについて、石油業界との違いや共通点について探っていくと共に、今後互いに協力し合える点等について検討していきます。

【開催概要】

- (1) 主催：日本経済新聞社・石油連盟 の共催
- (2) 日時：2016年3月2日（水） 13：30～16：40（予定）
- (3) 場所：経団連会館 カンファレンス2階 国際会議場（約500名）
- (4) テーマ：「東日本大震災から5年を経て、あらためて考える社会インフラとしての石油」
- (5) プログラム（予定）
 - ①開会挨拶：木村 康 会長
 - ②来賓挨拶：経済産業省資源エネルギー庁（予定）
 - ③基調講演：豊田 正和 氏 日本エネルギー経済研究所理事長
 - ④パネルディスカッション
テーマ：「被災地における石油業界、コンビニ業界、報道機関の対応とその後の取組み」
パネラー：吉田 浩一 氏 株式会社ローソン
コンプライアンスリスク統括室室長
武田 真一 氏 河北新報社 論説副委員長
亀岡 剛 石油連盟副会長・広報委員長
 - ⑤閉会挨拶：山口 益弘 広報副委員長

以上